

1 地区の概況

- ◆南北に長い・公共機関が南部に集中
- ◆北東部は企業の倉庫等工業エリア
- ◆農業専用地区として畑が多く残っている
- ◆新しい大規模マンションや新興住宅地がある
- ◆人口の増加が著しい
- ◆大規模マンション等があることから区内での高齢化率は低く、区内で最も若い地域

2 第1期・第2期で取り組んだ主な活動や事業

- ◆交流、啓発事業・高齢者への支援・子育て支援
- ◆見守りと災害対策・障害者理解・広報の強化

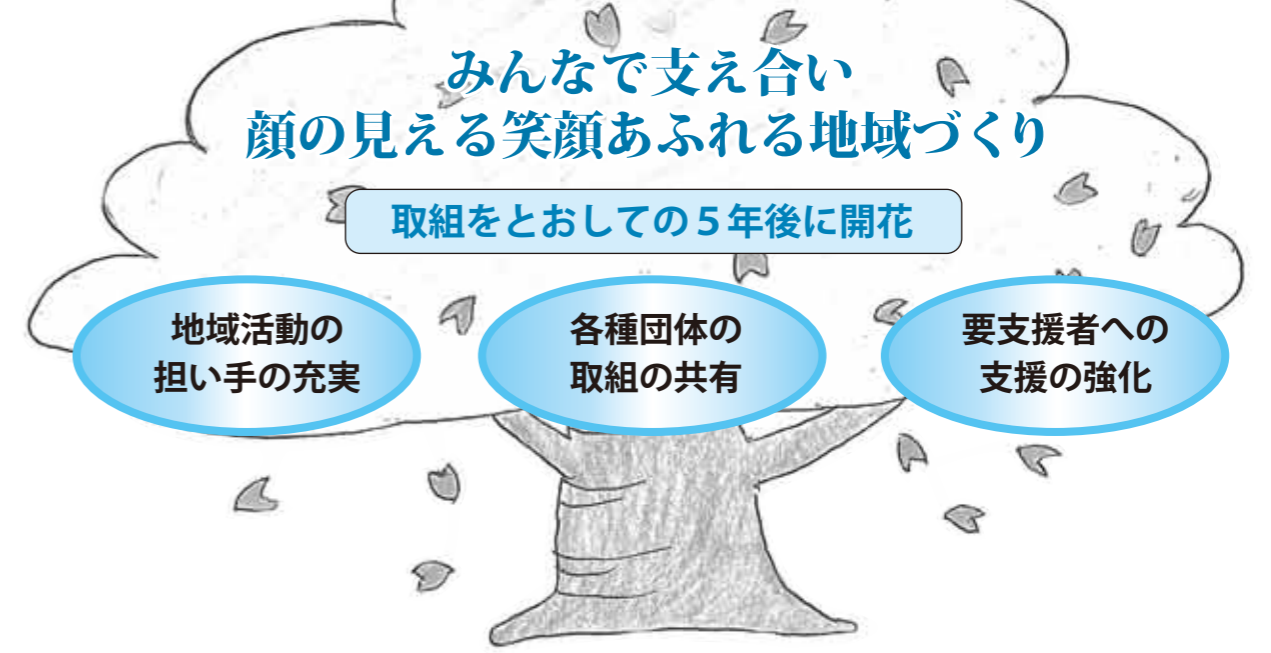
3 第3期計画に向けての課題

- 第2期の振り返り
 - ◆地域事業への協力者や役員の人材確保について工夫が必要です。
 - ◆人材、財源、参加利用者に関する事で、いくつかの団体が実施している同内容の事業における連携が必要です。
 - ◆瀬谷養護学校との交流事業参画は発展しましたが、更に多くの地域団体や住民が参加して、障害者をはじめとする要援護者への理解を進める必要があります。
- 第3期に向けての地域アンケート結果
 - ◆地区活動で行っている要支援者向けの事業を知っている方の割合が低い。
 - ◆地域活動の担い手確保のために、きっかけづくり、活動の様子や参加に必要な場所等の情報提供、講習会や研修会が必要。
 - ◆必要な取組として、防犯・災害準備の支え合う仕組み、子育て支援、高齢者支援、日常の見守り、健康づくり、障害者支援が多く挙げられた。

4 推進母体

瀬谷北部地区別計画策定推進委員会
 構成団体：
 五貫目町内会・上瀬谷町内会・竹村町内会・中屋敷町内会・北町町内会・マークスプリングス自治会・上瀬谷住宅1棟自治会・瀬谷北部地区社会福祉協議会・瀬谷北部民生委員児童委員協議会・瀬谷北部連合老人会・瀬谷北部スポーツ推進委員連絡協議会・瀬谷北部青少年指導員連絡協議会・瀬谷養護学校

5 第3期計画



開花に対する具体的収穫と作業

- 【防災・防犯への備え】
 - ◆ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯、障害のある方への防災グッズの配布及び見守り活動の実施
 - ◆要援護者救護訓練の実施
 - ◆自治会町内会やキッズ学援隊によるパトロールの強化
 - ◆警察、消防等との連携強化
- 【高齢者への支援】
 - ◆むつみ会によるふれあい食事会の実施
 - ◆民生委員によるひとり暮らし高齢者食事会「あじさい会」の実施
 - ◆瀬谷養護学校の高等部生徒による高齢者介護施設等への訪問交流の実施
 - ◆サロン活動の充実
 - ◆配食サービス「かしわ会」の実施
- 【子育て支援】
 - ◆民生委員主任児童委員による子育てお母さんの集い「タッチ」の実施
 - ◆にこてらすと共同運営している「マーク広場」の定着
 - ◆農業体験を通じての子ども達の育成
- 【健康づくり】
 - ◆レクリエーション大会の充実化
 - ◆グランドゴルフの実施
 - ◆健康寿命のための講座を地域ケアプラザと連携して実施
- 【障害者への支援】
 - ◆瀬谷養護交流フェスティバルへの参加
 - ◆障害福祉の理解啓発のための取組を実施
 - ◆障害者の活動の場の提供
- 【地域活動の活発化と担い手づくり】
 - ◆各自治会町内会のお祭りの実施
 - ◆子ども会と連携し、「タッチ」と「マーク広場」のボランティアの充実
 - ◆各自治会町内会の班長育成のための研修を実施

★瀬谷北部地区地域福祉保健計画に挿入されているイラストは瀬谷養護学校の生徒によって描かれたものです。